



2020年7月21日

日本鉄道労働組合連合会

J R 西 労 組 第 3 2 回 定 期 中 央 本 部 大 会

全組合員の総団結でこの難局を乗り越えよう!

J R 西 労 組 は、7 月 20 日、ホ テ ル グ ラ ン ヴ ィ ア 岡 山 を メ イ ン 会 場 に、5 会 場（ホ テ ル グ ラ ン ヴ ィ ア 京 都 ・ 大 阪 ・ 和 歌 山 ・ 岡 山 ・ 広 島）を テ レ ビ 会 議 シ ス テ ム で つ な ぎ、ラ イ ブ 形 式 に よ り 第 32 回 定 期 中 央 本 部 大 会 を 開 催 し た。「創 造、参 加、実 践」と「全 組 合 員 の 総 団 結 で こ の 難 局 を 乗 り 越 え、安 全 を 基 礎 に 未 来 を 切 り 拓 こ う！」を メ イ ン ス ロ ー ガ ン に 掲 げ た 今 大 会 は、新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 拡 大 の 影 響 に よ り 規 模 を 縮 小 し、密 状 態 を 避 け な が ら 半 日 で の 開 催 と し た。



上 村 良 成 中 央 執 行 委 員 長（J R 連 合 副 会 長）は、冒 頭 の 挨拶 で、「J R 西 日 本 グ ル ー プ の す べ て に お い て 雇 用 を 守 り 組 合 員 の 生 活 を 守 る こ と を 優 先 し、一 方 で 将 来 を 見 据 え 働 き 方 を 見 直 し て 生 産 性 の 向 上 に む け て 取 り 組 み、労 使 で 力 を 合 わ せ 全 組 合 員 の 総 団 結 で こ の 難 局 を 乗 り 越 え て い き た い」と 力 強 く 訴 え た。

来 賓 挨拶 で は、J R 西 労 組 が 推 薦 す る 国 会 議 員 懇 の 泉 健 太 議 員 が ラ イ ブ 中 継 で、ま た、同 じ く 岸 本 周 平 議 員 が ビ デ オ メ ャ ッ セ ー ジ で、そ れ ぞ れ 連 帯 の 意 を 示 し た。そ し て J R 連 合 荻 山 市 朗 会 長 は、こ の 難 局 を 乗 り 越 え J R 産 業 を 持 続 的 に 発 展 さ せ る た め に は、健 全 で 責 任 あ る 労 働 組 合 と 労 使 関 係 が 必 要 で あ り、そ の 上 で 労 使 と も に グ ル ー プ が 一 本 化 し て 力 を 合 わ せ る 必 要 が あ る と の 認 識 を 語 っ た。

議 事 で は、執 行 部 か ら 新 年 度 の 運 動 方 針 案 ・ 予 算 案 を 提 起。事 前 に 書 面 で 各 地 本 ・ 本 社 総 支 部 か ら 意 見 を 集 約 し す べ て に 対 し て 中 央 本 部 答 弁 を し た 上 で、さ ら に 15 人 の 代 議 員 か ら

補 強 す る 発 言 が あ り、執 行 部 か ら の 追 加 答 弁 お よ び 総 括 答 弁 を 経 て、全 議 案 が 満 場 一 致 で 確 認 さ れ た。

な お、大 会 後 に J R 西 日 本 の 長 谷 川 一 明 社 長 が 挨拶 し、コ ロ ナ 禍 に 対 し、社 会 的 イ ン フ ラ と し て の 使 命 を 果 た し 雇 用 を 守 る な ど の 基 本 方 針 を 示 し、労 使 が 総 団 結 し て 明 日 を 切 り 拓 こ う と 呼 び 掛 け た。